

Weekly Bulletin 2016-2017



RI会長
ジョンF.ジャーム



静岡東ロータリークラブ

会長/大村幸代 幹事/細川俊彦

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
大村幸代

第 2804 回例会

(夜間例会 観桜会)

平成 29 年 4 月 6 日 天候 曇

《司 会》 細川 俊彦 君

《ゲスト》 なし

《ビジター》 なし

《会長挨拶要旨》 「観桜会へようこそ」

大村 幸代 会長



今年の桜は全国的に咲くのが少し遅れているようですが桜が咲こうが咲くまいがとりあえず「お花見」というのがこの時期の日本の風景だと思います。もちろん満開の桜の下が気分いいのは当然ですが桜がまだ咲いていないからと

いってもほかの花で代用しようとは思いません。

奈良時代には花といえば「梅」だったようで万葉集の中には梅の句が 110 首ほどあるのに「桜」は 43 首です。ところが平安時代になると桜の花の歌が増え古今和歌集には梅の句は 18 種程ですが桜の句は 70 種程あるそうです。

「さくら」の語源には諸説があるようですが「さくら」の「さ」は八百万の神の中の田や畑の神様の名前で「くら」は神様の座る場所という意味があり、春になって山から里に下りてきた田や畑の神様が、いったん留まる木が「桜の木」で、その木の下で豊作を願ってお酒や料理で神様をもてなしたのが花見の原型ともいわれています。

私たちも今宵、庭の桜を眺めながら春の到来を喜び実り多い 1 年になりますようお願いながらおいしいお酒をいただきたいと思います。

《退会・入会 挨拶》

鈴木寿人君より退会に伴うお別れの言葉と
杉山輝光君より入会のご挨拶をいただきました。



《記念撮影》

東海の名園“浮月楼”の庭園で桜を愛でながら参加者全員で記念撮影を行いました。



《観桜会》

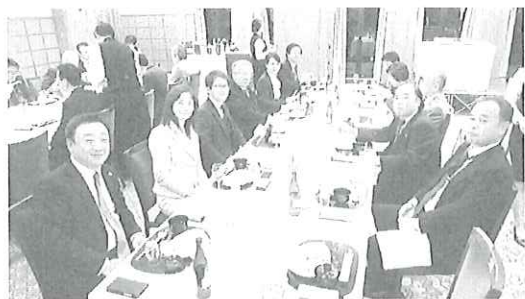
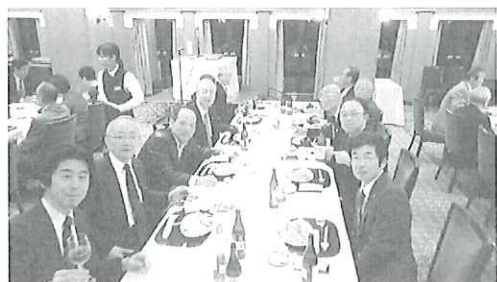
司会は新井健一君



川崎依子君による乾杯のご発声で観桜会が始まりました。



観桜会には会員のご家族や職場の方もたくさん参加され、豪華な料理とお酒を堪能しました。



今宵のアトラクションは落語家の雷門幸福師匠。

演題は『名古屋弁指南』

～ 一晩で名古屋弁を習得できました。(?)

オチは『尾張名古屋は“シロ”でもつ』～



○雷門幸福師匠

昭和 47 年岐阜県生まれ。立教大学理学部卒
(修士課程)。本名：高安淳氏。

雷門師匠は河野雅一君よりご紹介いただきました。



高田副会長による中締めの後、最後は全員で輪になり「手に手つないで」を大合唱し、楽しい観桜会を終えました。

